

誤嚥性肺炎予防に期待される薬剤

誤嚥性肺炎は、ADLや全身機能の低下、特に脳血管障害を有する場合に認められやすい嚥下機能障害を背景に起きる肺炎で、唾液や食べ物、あるいは胃液などと一緒に細菌を気道に誤って吸引することにより発症します。吐物を大量に吸引した場合には胃酸による化学性肺炎を起こすことがあります。

脳血管障害のなかでも大脳基底核に障害がおこると、この部位にある黒色線条体から産生されるドーパミンが減少します。ドーパミンはサブスタンスP*を合成しているため、舌咽神経や迷走神経知覚枝におけるサブスタンスP*の産生量や含有量の減少がおこり、それによって調節されている嚥下反射と咳反射が低下します。

薬剤による誤嚥性肺炎の発症予防効果については従来より広く研究・発表されています。そうしたエビデンスをもとに各種ガイドラインでは使用を推奨されている薬剤もあり、今回は誤嚥性肺炎予防に関して研究・発表されている薬剤について表1にまとめました。

〔表1〕

| 薬剤 一般名(主要商品名) | 適応 | 誤嚥性肺炎予防に関する研究結果 |
|---|---|--|
| アンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬 イミダプリル塩酸塩(タナトリン) テモカプリル塩酸塩(エースコール)など | 高血圧症、腎実質性高血圧症など | アンジオテンシン変換酵素(ACE)によるサブスタンスPの分解を阻害し嚥下反射が正常化し肺炎を予防 |
| アマタジン塩酸塩(シメトレル) | パーキンソン症候群 脳梗塞後遺症に伴う意欲・自発性低下の改善 A型インフルエンザウイルス感染症 | ドーパミン遊離促進によりサブスタンスP合成促進し嚥下反射改善 |
| シロスタゾール(プレタール) | 慢性動脈閉塞症に基づく潰瘍、疼痛及び冷感等の虚血性諸症状の改善 脳梗塞(心原性脳塞栓症を除く)発症後の再発抑制 | 抗血小板作用および脳血管拡張作用(PDE3阻害によるcAMP上昇)により脳梗塞再発を予防し肺炎の発症率減少 |
| モサプリドクエン酸塩(ガスモチン) | 慢性胃炎に伴う消化器症状(胸やけ、悪心・嘔吐) 経口腸管洗浄剤によるバリウム注腸X線造影検査前処置の補助 | 胃運動を改善し食物の胃食道逆流を予防 経皮内視鏡的胃瘻増設術(PEG)施行患者において肺炎を予防 |
| 半夏厚朴湯 | 気分がふさいで、咽喉・食道部に異物感があり、時に動悸、めまい、嘔気などを伴う次の諸症: 不安神経症、神経性胃炎、つわり、せき、しわがれ声 | 脳変性疾患患者に投与すると嚥下反射時間が短縮 長期療養型病院に入院中の患者に投与した結果、非投与群に比べ肺炎の発症が有意に抑制 |

このほか、誤嚥性肺炎の予防には栄養状態の改善や、不必要に睡眠薬・鎮静薬を使いすぎないこと、口腔ケアや頭部挙上などの胃食道逆流の予防などが重要で、肺炎球菌ワクチンの接種も推奨されます。

肺炎は日本人の死因の4位に位置する疾患で、特に65歳以上の高齢者がその95%以上を占めています。こうした高齢者の肺炎の原因として誤嚥の重要性が指摘されており、嚥下機能の維持や嚥下障害の治療、リハビリテーション等と並び上記薬剤の活用も誤嚥性肺炎予防の一助となっています。

サブスタンスP*：血管作動性ペプチドの一種で11個のアミノ酸からなる神経伝達物質

参考資料・文献

厚生労働省 人口動態統計年報 主要統計表

日本感染症学会・日本化学療法学会「呼吸器感染症治療ガイドライン」

日本脳卒中学会 脳卒中治療ガイドライン2015追補2019

日本呼吸器学会ホームページ「呼吸器の病気」

日本救急医学会 用語解説：誤嚥性肺炎

日本老年医学会「高齢者薬物療法のガイドライン2015」

Shinohara Y. Antiplatelet cilostazol is effective in the prevention of pneumonia in ischemic stroke patients in the chronic stage. Cerebrovasc Dis 2006;22:57-60

Nakagawa T, Wada H, Sekizawa K, Arai H, Sasaki H. Amantadine and pneumonia. Lancet 1999;353:1157